

日本写真測量学会平成18年度年次学術講演会

プログラム

開催日時： 平成18年7月6日（木） 9時00分～17時00分
 13時00分～14時00分 特別講演会演題「空間情報社会を支える測量行政」：矢口 彰（国土地理院長）
 17時30分～ 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
 7月7日（金） 9時15分～17時00分

開催場所： パシフィコ横浜 アネックスホール（F205・F206）
 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
 Tel: 045-221-2155 HP: http://www.pacifico.co.jp/

第一日目 7月6日（木）

開会のあいさつ

会長 村井 俊治

9:00-9:15

F205		
セッションA	リモートセンシング(土地被覆)	司会 竹内 渉(東京大学)
9:15-9:30	A-1 MODISを用いたイネウシカ類飛来源地域の情報抽出 (1)台湾の水田分布図作成 ○宮久尾 歩・大塚 彰(中央農研)・その他3名	
9:30-9:45	A-2 時系列MODISデータを用いた土地被覆分類に有効なチャンネルの検討 ○藤藤正人・朴 鍾杰(東京情報大学)・その他3名	
9:45-10:00	A-3 MODISデータによる中国黒龍江省における水田分布の算定 ○内田 諭(JIRCAS)	
10:00-10:15	A-4 ヒートアイランド現象の解明・対策に資する土地被覆整備の試み ○永山 透(国土地理院)・岡谷隆基(国土交通省)・その他6名	
10:15-10:30	A-5 Degree Confluence Projectを用いたユーラシア地域の土地被覆図精度検証 ○岩男弘毅(国立環境研究所)・西田顕郎(筑波大学)・その他2名	

F206		
セッションE	測地・地上計測	司会 穴井哲治(トプコン)
9:15-9:30	E-1 パキスタン地震直近におけるプレート境界域の地殻変動 ○荒木春規(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)	
9:30-9:45	E-2 2005年8月16日宮城県沖地震M7.2の直近における地殻変動 ○荒木春規(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)	
9:45-10:00	E-3 歩行中における身体バランスに関する研究 ○鶴岡政子(東京大学空間情報科学研究センター)・鶴岡百合子(統計数理研究所)・その他3名	
10:00-10:15	E-4 デジタル画像によるモホス文明の遺跡の3D表示 ○石井寿樹・小川 進(立正大学)・その他3名	
10:15-10:30	E-5 レーザスキャナを用いた群集の流動抽出およびセンサネットワークを用いた温度分布モニタリング ○帷子京市郎・柴崎亮介(東京大学空間情報科学研究センター)・その他2名	

10:30-10:45

休憩

セッションB		
セッションB	リモートセンシング(地球環境)	司会 西田顕郎(筑波大学)
10:45-11:00	B-1 MODISデータを利用したアジアの火災分布特性の解析 ○竹内 渉・安岡善文(東京大学生産技術研究所)	
11:00-11:15	B-2 MODISデータを利用したアジアの火災検知結果の検証 ○竹内 渉・安岡善文(東京大学生産技術研究所)	
11:15-11:30	B-3 MODISデータを用いた東アジアのヒートアイランド現象について ○朴 鍾杰・原 健太郎(東京情報大学)・その他1名	
11:30-11:45	B-4 人工衛星NDVIの信頼性について ○丹波澄雄・飯倉善和(弘前大学)	
11:45-12:00	B-5 NOAA衛星による水分環境の長期変動把握 ○沢田治雄(森林総合研究所)・澤田義人(システムハイデント)	

セッションF		
セッションF	教育・文化財	司会 今井靖晃(国際航業)
10:45-11:00	F-1 由布岳の大噴火と日本の神話 ○桜井貴子(RSデータ・アナリシス)	
11:00-11:15	F-2 衛星データによる古代モホス文明の遺跡の同定 ○今井厚太・小川 進(立正大学)・その他2名	
11:15-11:30	F-3 衛星データを用いた沖縄海底遺跡の同定 ○謝花達磨・小川 進(立正大学)	
11:30-11:45	F-4 衛星リモートセンシングの存在理由と国家主権一宇宙平和利用原則見直しにともなうシステム工学的検討一 ○得丸久文	
11:45-12:00	F-5 分解能の異なる衛星画像DEMによる大規模崩壊の解析一2004スラウェシ島パワカラエン山の山体崩壊について一 ○清水孝一・小山内信智(国土技術政策総合研究所)・その他4名	

12:00-13:00

昼食

13:00-14:00 特別講演会

開催場所：アネックスホール F203・F204

題 名：「空間情報社会を支える測量行政」
 講演者： 矢口 彰（国土地理院長）

セッションC		
セッションC	リモートセンシング(植生)	司会 小野朗子(JAXA)
14:00-14:15	C-1 水田の地上分光反射特性の季節変化とクロップカレンダーの関係 ○本岡 毅・西田顕郎(筑波大学)・その他2名	
14:15-14:30	C-2 Fractal Analysis for Hyper-spectrum in Remote Sensing ○山浦大和・小川 進(立正大学)・その他1名	
14:30-14:45	C-3 ハイバースペクトルデータによるユーカリの生化学物質推定 ○福井裕子・赤松幸生(国際航業(株))・その他4名	
14:45-15:00	C-4 ハイバースペクトル画像と森林公園の自然度との関連評価 ○白石青子・後藤直太郎(立正大学)・その他2名	
15:00-15:15	C-5 白神山における航空ハイバースペクトルセンサを用いたフナとサワグルミの判別について 佐藤 浩(国土地理院)・○宮坂 聡(中日本航空(株))	

セッションG		
セッションG	画像計測	司会 長谷川裕之(国土地理院)
14:00-14:15	G-1 写真計測の精度に対するJPEG画像の圧縮の影響について 山本允彦(株)日本総合科学)・○服部 進(福山大学)その他3名	
14:15-14:30	G-2 フォトセオドライトを用いた地形計測のための画像標定法 ○小野 徹(画像計測研究所)・関口秀雄(京都大学)・その他2名	
14:30-14:45	G-3 工業写真計測での不良ターゲットの検知について 藤原 遊(株)VSN)・○服部 進・その他1名	
14:45-15:00	G-4 3Dアニメーションによる自動車衝突の再現 ○山川 峻・小川 進(立正大学)	
15:00-15:15	G-5 中低層ビルの保守管理を想定したフォトセオドライトによる三次元計測 ○大谷崇裕(京都大学)・小野 徹(画像計測研究所)・その他2名	

15:15-15:30

休憩

セッションD		
セッションD	リモートセンシング(防災)	司会 松岡真如(高知大学)
15:30-15:45	D-1 中空間分解能衛星データを活用した自然災害監視システムの開発 ○角田里美(アジア航測(株))・荒川 泰(ERSDAC)・その他3名	
15:45-16:00	D-2 MODISデータを用いた林野火災監視システム開発について ○朴 鍾杰(東京情報大学)・関根秀真((株)三菱総合研究所)・その他2名	
16:00-16:15	D-3 上水道の地震時被害想定 ○梅沢幸樹・小川 進(立正大学)	
16:15-16:30	D-4 分布型モデルによる新門司理立地の高潮水害解析 ○岡田南樹・小川 進(立正大学)・その他2名	
16:30-16:45	D-5 災害判読特性の視点から見た各種衛星画像の比較検証一パキスタン北部地震の事例一 ○小荒井 衛・佐藤 浩(国土地理院)・その他2名	
16:45-17:00	D-6 2005年8月ハリケーン・カトリナ災害の衛星リモートセンシング解析と要因分析 ○後藤恵之輔(長崎大学)・薬得康之(チューレン大学)・その他1名	

セッションH		
セッションH	航空機レーザ測量	司会 武田浩志(国際航業)
15:30-15:45	H-1 航空レーザ測量データを用いた葉面積指数マッピングの試み ○佐藤 浩(国土地理院)・江田敏幸(プラトール研究所)・その他1名	
15:45-16:00	H-2 航空機レーザスキャナを用いた森林の三次元構造の測定 ○武田知己・小熊宏之(国立環境研究所)・その他2名	
16:00-16:15	H-3 航空機レーザの透過率を用いた樹木本数に関する検討 ○河合雅己・船橋 学(株)国際航業)・その他4名	
16:15-16:30	H-4 LIDARデータによる森林資源量推定のための樹冠形モデルの検討 ○伊藤拓弥・松英恵吾(宇都宮大学)・その他1名	
16:30-16:45	H-5 LIDARデータを用いた建物と樹木の抽出と判別 ○長谷川裕之(国土地理院)	
16:45-17:00	H-6 航空レーザ測量データを用いた赤色立体地図による微地形判読 ○吉川由里子(アジア航測(株))・長谷川修一(香川大学)・その他3名	

17:30-20:00 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
 会費：5,000円 Tel: 045-683-3111

第二日目 7月7日(金)

セッションI		リモートセンシング(熱画像解析)		F205		司会 朴 鍾杰(東京情報大学)	
9:15-9:30	I-1	植生地における地表温度地上観測手法の確立(Ⅱ)	○谷川 聡・森山雅雄(長崎大学)・その他2名				
9:30-9:45	I-2	複合カテゴリにおける地表温度・地表放射率の平均化モデルの検討	○松井 隆・森山雅雄(長崎大学)				
9:45-10:00	I-3	GMSデータを用いた広域地表熱環境指数の土地被覆分類への利用可能性	○中山義史・森山雅雄(長崎大学)				
10:00-10:15	I-4	河川復元が熱環境緩和に与える影響評価 -ソウル(韓国)を例に-	○白木洋平・原田一平(千葉大学)・その他1名				
10:15-10:30	I-5	航空機MS Sによる都市熱環境調査	○柴田光博・小井土今朝己(国土地理院)				
10:30-10:45	I-6	熱赤外面像による熊谷市のヒートアイランド現象の熱収支評価	○劉 越・後藤真太郎(立正大学)・その他1名				

10:45-11:00

休憩

セッションJ		リモートセンシング(大気)		F206		司会 長井正彦(東京大学)	
11:00-11:15	J-1	天空状態を考慮した光合成有効放射量の推定	○山下 恵(近畿測量専門学校)・吉村充則(総合地球環境学研究所)	9:15-9:30	L-1	地形ブレークライン情報を保持したDEM細分手法の検討	○桜井洋祐(ESRIジャパン(株))・カ丸 厚(長岡技術科学大学)・その他1名
11:15-11:30	J-2	スカイラジオメーターによるエアロゾル光学的特性の観測-代替校正におけるエアロゾル問題およびその高精度化に向けて-	○池田崇史(筑波大学)・土田 聡(AIST)・その他3名	9:30-9:45	L-2	統計的アプローチによるDSMデータからの地盤面推定に関する研究	○坂元光輝・土居原 健(アジア航測(株))・その他1名
11:30-11:45	J-3	MODISエアロゾルプロダクトの精度検証	○森山雅雄(長崎大学)	9:45-10:00	L-3	SPOT5ステレオ画像を用いた等高線図化の精度検証	○笹川 啓(国土地理院)・石岡隆幸(文部科学省)・その他2名
11:45-12:00	J-4	Terra/MODISとAqua/MODISによる、光合成有効放射量の日積算値の高分解能簡易推定	○西田顕郎(筑波大学)	10:00-10:15	L-4	山岳災害解析におけるASTERデータの適用性に関する検討	○高市善幸(中日本航空(株))・カ丸 厚(長岡技術科学大学)・その他1名
12:00-12:15	J-5	衛星データによる三宅島噴煙のモニタリング	○大澤直也・小川 進(立正大学)	10:15-10:30	L-5	航空機搭載合成開口レーダ(Pi-SAR)によるDSMの作成 その2	○野中崇志((株)パスコ)・浦塚清峰(情報通信研究機構)・その他 8名
12:15-12:30	J-6	NOAA/AVHRRを用いた陸域可降水量の時系列分析	○赤塚 慎・安岡善文(東京大学生産技術研究所)	10:30-10:45	L-6	ランドサットデータによる日本の主要都市圏における30年間の土地被覆変化	○竹内章司(広島工業大学)

12:30-13:30

昼食

特別セッション		ALOS特別セッション		セッションM		GIS	
13:00-13:45		題目 「ALOSの現状と展望」		11:00-11:15	M-1	鳥類を対象とした環境ポテンシャルの検討	○木村篤史((株)パスコ)・後藤真太郎(立正大学)・その他2名
13:45-14:00		1. ALOS画像データの現状	島田政信 (JAXA)	11:15-11:30	M-2	オートロジーを利用した地球環境情報の共有	○長井正彦・立塚滋充(東京大学空間情報科学研究センター)・その他1名
14:00-14:15		2. ALOSが創る付加価値の可能性	柴崎亮介 (東京大学)	11:30-11:45	M-3	講としての荒川流域一斉水質調査とそのGIS化の課題	○川村尚子・後藤真太郎(立正大学)・その他1名
14:15-14:30		3. 災害情報利用への取り組み	森山 隆 (JAXA)	11:45-12:00	M-4	時空間GISにおける画像管理	○織田和夫・土居原 健(アジア航測(株))・その他2名
14:30-14:45		4. 地図等利用への期待	田中宏明 (国土地理院)	12:00-12:15	M-5	統合型GISを構築するためのデータ変換・統合・編集システムの開発	○路 毅(シービーエス)・角本 肇(防災科学技術研究所)・その他2名
14:45-15:00		5. 資源探査利用への期待	加藤雅胤 (ERSDAC)	12:15-12:30	M-6	中国の数値地図情報とその利用例	○柴田健一(シービーエス)・何建峰(中国科学院資源環境データセンター)・その他1名
		6. ALOSデータ提供について	桑原克也 (RESTEC)				

15:00-15:15

休憩

セッションK		リモートセンシング(森林)		セッションN		画像認識・判読	
15:15-15:30	K-1	LAI推定高度化のための魚眼デジタルカメラ放射量補正	○三上寛了・松下文経(筑波大学)・その他3名	15:15-15:30	N-1	ランレンクス特徴を用いた高分解能衛星画像からの形状抽出に関する研究	○細村 幸(東京電機大学)
15:30-15:45	K-2	森林の葉面積指数(LAI)の時系列観測と、それによる衛星推定LAIの検証	○西田顕郎(筑波大学)・村岡裕由(岐阜大学流域圏科学研究センター)	15:30-15:45	N-2	適応二重ウィンドウを用いた高分解能衛星画像からの建物抽出	○細村 幸(東京電機大学)
15:45-16:00	K-3	多層モデル逆解析によって、衛星の分光情報から森林樹冠の光合成と呼吸を推定する	○西田顕郎(筑波大学)・村岡裕由(岐阜大学流域圏科学研究センター)	15:45-16:00	N-3	航空機画像と既存3Dデータによる建物変化検出	○朱 林・笹川 正((株)パスコ)・その他5名
16:00-16:15	K-4	時系列LANDSAT/TMデータから得た抽出伐採地と林地転用の実態	○村上拓彦・太田徹志(九州大学)・その他2名	16:00-16:15	N-4	旧版地図・航空写真による地形変化(盛土・切土)の把握	○長谷川裕之(国土地理院)・佐野滋樹(玉野総合コンサルタント)・その他2名
16:15-16:30	K-5	高精度観測衛星データによる記号列処理を利用した分類	○澤田義人	16:15-16:30	N-5	Kuバンド航空機SAR画像による判読調査	○小井土今朝己・田中宏明(国土地理院)
16:30-16:45	K-6	植物の生育状況把握のための植生指数の開発	○小野朗子(JAXA/EORC)・梶原康司(千葉大学)・その他1名	16:30-16:45	N-6	空間的な連続性を考慮した緑地分布の分析に関する一考察	○熊谷樹一・前田杜亮(摂南大学)
16:45-17:00	K-7	ミクセルモデルを用いた都市域の植被率算出-経年変化抽出と都市間の比較-	○竹内章司(広島工業大学)				

閉会のあいさつ

副会長